

# 報告案件（2）平成30年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰の受賞について

## 1 表彰式

平成30年7月12日（木）  
国土交通省中央合同庁舎にて平成30年地域公共交通優良団体国土交通大臣表彰を受賞  
豊田市公共交通会議主宰者として豊田市長が代表して受賞

## 2 平成30年受賞団体（5事業8団体）

受賞者名	功績概要	所在地
豊田市公共交通会議	「3 功績概要」のとおり	豊田市
宇治市地域公共交通会議 明星町自治会 西小倉自治連合会	三者で協働し交通空白地域の解消を目的とした「宇治市のりあい交通事業」を構築し収支率に応じた運行費の住民負担を導入するとともに多様な利用促進策を講じ利用者増加を実現するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。	京都府 宇治市
淡路市地域公共交通会議	交通空白地域の解消と交通結節機能の強化を目的とした「北部生活観光バス」を導入し高速船や高速バスとの接続を改善することで利便性を向上させ島全体の公共交通ネットワークの再構築を図るなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。	兵庫県 淡路市
特定非営利活動法人にこにこひづち 八幡浜市	地域住民の発意と行政との協働により高齢者の移動に加え児童・生徒の通学も含めた地域の移動手段を継続的・自立的に提供するとともに高齢者の外出機会創出や利用促進を図るなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。	愛媛県 八幡浜市
大分市地域公共交通協議会	交通不便地域における乗合タクシー「ふれあい交通」の導入によりバスと連携した公共交通ネットワークを構築するとともに利用頻度の高い住民自らが参画して運行計画の策定・見直しを行う仕組みを確立するなど地域公共交通の確保・維持に積極的に取り組んだ。	大分県 大分市

## 3 功績概要

### 豊田市公共交通会議（愛知県豊田市）

1市4町2村の合併により成立した広大な中核市（面積は大阪府の約半分）において、**鉄道・基幹バス、そして住民が運営に参画した「地域バス」による多核ネットワークの構築、多様な利用促進策及び生産性・持続可能性の向上策を展開し、地域交通を活性化。**



#### （取組の概要）

#### 1. 多モード、住民参画を組み合わせた効率的なネットワーク構築

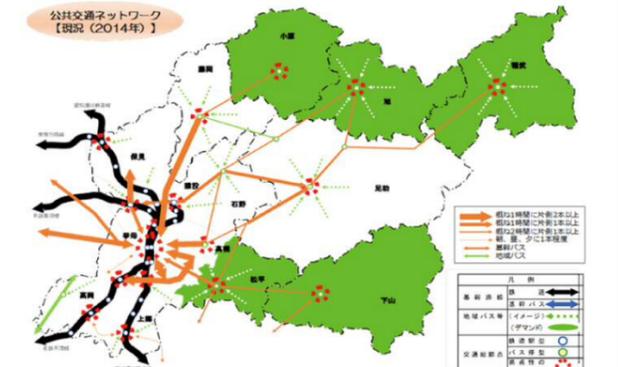
- 鉄道・バス・デマンド等組み合わせ、広大な市域を効率的にカバー
- 「鉄道」は、「愛知環状鉄道の複線化」などを実施し、通勤需要に対応、車通勤の減少
- 「バス」は、中核的拠点を結ぶ「基幹バス」とエリアを担う「地域バス」に分類
- 「基幹バス」は市と事業者とが緊密に連携し、計画に基づいた運行・改善を実施（改善例：**コミバスでの交通系共通ICカードの導入**等）
- 「地域バス」は、地域住民、商工会、病院、学校などが参加する「**運営協議会**」の議論に基づき運行、改善を実施。

#### 2. 多様な利用促進策の展開

- （1）企業と連携した通勤輸送の公共交通利用（鉄道）への転換
  - 渋滞対策等の観点から、地元大手企業と連携した公共交通利用促進を実施
  - 愛知環状鉄道の複線化、P&R駐車場の整備などの施策を展開
- （2）バス利用促進策の展開
  - 鉄道・事業者バス・コミバスを一元的に集約した移動支援サイト・アプリ、「みちなびとよた」を整備し、利便性を向上
  - 事業者委託ではないコミバス（基幹バス）では全国でも例の少ない**交通系共通ICカード**の導入
  - 商工会との連携によるバス利用時の買い物で運賃をキャッシュバック

#### 3. 生産性・持続可能性の向上に向けた取組

- 収支率等の定量的な指標と運営協議会の取組を評価する独自のバス評価システムを導入し、「基幹バス」・「地域バス」のサービス水準の見直しに活用・運営協議会の活動を活性化。
- コミュニティバスでは**全国初の宅配物の貨客混載**の実施。



「鉄道」・「基幹バス」・「地域バス」で広大な市域をカバー

水原東バス  
地域バス運営協議会にて検討  
地域バスだより  
移動支援ポータルサイト  
みちなびとよた  
貨客混載本運行出発式  
貨客混載の実施